



残したい  
**音**

風景

西陣は、耳で織る。

【西陣織（とみや織物）】

京都市上京区二帯に広がる西陣。この地に、老舗の織元「とみや織物」があります。

小幅紋織物の産地として、同社の職人たちは最高峰の品質を守り続けてきました。その原動力は、「西陣は耳で織れ」という先人の教えにあります。

職人は、力織機りきしよつきから聞こえる音の変化を聞き逃しません。製織時に、繊細な織物の出来栄を目だけで見極めるのは困難。僅かな音の変化で不具合を察知し、対策を打つのです。

このことから、熟練の耳を持つ腕の良い職人ほど、織機の前で暇そうにしているとされています。職人たちが奏でる機音はたおとのリズムが、今日も路地から

聞こえてきます。それは西陣の誇りであり、信頼の証でもあります。



スマートフォンで読み取るとリズムカルな機音はたおとが聞こえてきます。

携帯電話のご利用マナーにご協力ください。